

## 事例2

### 低入札価格調査基準価格、失格基準価格の算出例（土木工事）

#### 【計算例】

次の発注案件に対し、表-1のような開札があったとする。

発注案件・設計金額（税抜） **42,309,000 円**

設計金額の内訳	直接工事費	25,259,450
	共通仮設費	2,412,000
	現場管理費	8,699,000
	一般管理費等	5,938,550

注：設計金額の内訳については、開札時は非公表。

開札状況（表-1）

単位：円

入札参加者	入札金額	くじ番号	入札書受信日時	ミリ秒単位	区分
A者	41,500,000	201	R4.10.10 13時32分22秒	231	電子
B者	41,000,000	236	R4.10.10 13時02分15秒	556	電子
C者	38,550,000	555	R4.10.10 13時15分25秒	210	電子
D者	38,500,000	124	R4.10.10 14時13分05秒	654	電子
E者	40,000,000	658	R4.10.10 14時26分55秒	524	電子
F者	37,500,000	000	R4.10.10 15時11分52秒	116	紙

注：紙入札で参加の場合、入力くじ番号は000となり、入札書受信日時は、入札機関が入力した時刻になる。

#### 1. 調査基本価格（税抜）の算定

調査基本価格

$$\begin{aligned}
 &= \text{直接工事費} \times 0.97 + \text{共通仮設費} \times 0.90 + \text{現場管理費} \times 0.90 + \text{一般管理費等} \times 0.68 \\
 &= 25,259,450 \times 0.97 + 2,412,000 \times 0.90 + 8,699,000 \times 0.90 + 5,938,550 \times 0.68 \\
 &= 38,539,781 \\
 &= \boxed{38,539,000}
 \end{aligned}$$

千円未満切り捨て、千円単位で丸める。

調査基本価格は、38,539,000円になる。

#### 2. 失格基本価格（税抜）の算定

失格基本価格

$$\begin{aligned}
 &= \text{直接工事費} \times 0.97 + \text{共通仮設費} \times 0.90 + \text{現場管理費} \times 0.85 + \text{一般管理費等} \times 0.68 \\
 &= 25,259,450 \times 0.97 + 2,412,000 \times 0.90 + 8,699,000 \times 0.85 + 5,938,550 \times 0.68 \\
 &= 38,104,831 \\
 &= \boxed{38,104,000}
 \end{aligned}$$

千円未満切り捨て、千円単位で丸める。

失格基本価格は、38,104,000円になる。

### 3. ランダム係数の算定

ランダム係数は、電子入札システムにおいて、入札参加者が入力する任意の3桁くじ番号と入札書受信日時の秒（ミリ秒単位の下3桁を使用）をもとに自動的に算出される無作為の「1.0000～1.0060」の範囲で0.0005刻みの13通りの数字です。

- ① くじ番号（3桁）と入札書受信日時のミリ秒単位（下3桁）の総和を算出する。

$$\begin{array}{l} \text{くじ番号の計} \quad 201+236+555+124+658+000=1,774 \\ \text{ミリ秒単位の計} \quad 231+556+210+654+524+116=2,291 \\ \text{総和} \quad \quad \quad \quad \quad \quad \quad \quad \quad \quad \quad 1,774+2,291=4,065 \end{array}$$

- ② 総和を13で除し、余りを算出する。

$$4,065 \div 13 = 312 \text{ 余り } 9$$

- ③ ランダム係数対応表により、ランダム係数を決定する。

今回の場合は、余りが9になるため、

ランダム係数対応表（表-2）

余り	0	1	2	3	4	5	6
ランダム係数	1.0000	1.0005	1.0010	1.0015	1.0020	1.0025	1.0030
余り	7	8	9	10	11	12	
ランダム係数	1.0035	1.0040	1.0045	1.0050	1.0055	1.0060	

ランダム係数は、1.0045 になる。 ※調査基準価格及び失格基準価格に適用

### 4. 低入札価格調査基準価格（税抜）の算定

低入札価格調査基準価格

$$= \text{調査基本価格} \times \text{ランダム係数}$$

$$= 38,539,000 \times 1.0045$$

$$= 38,712,425$$

$$\approx 38,712,000$$

千円未満切り捨て、千円単位で丸める。

低入札価格調査基準価格は、38,712,000円 になる。

### 5. 失格基準価格（税抜）の算定

失格基準価格

$$= \text{失格基本価格} \times \text{ランダム係数}$$

$$= 38,104,000 \text{円} \times 1.0045$$

$$= 38,275,468$$

$$\approx 38,275,000$$

千円未満切り捨て、千円単位で丸める。

失格基準価格は、38,275,000円 になる。